

北海道 自家用新聞

発行所

北海道自家用自動車協会連合会
編集兼発行人 野崎次夫
札幌市東区北三〇東一(郵便番号〇六五-〇〇三)
電話(〇一一)七二一-四四七七八
支局 札幌・函館・室蘭・旭川・帯広・釧路・北見
定価 一部三〇円(会員の方は会費に含まれています)

消費税率10%引上げに合わせ

車体課税を抜本見直し

「平成三十一年度税制改正大綱」

政府は昨年末、平成三十一年度税制改正大綱を閣議決定した。

自動車関連税制では、本年十月一日に予定されている消費税率の引き上げに伴う対応として、自家用乗用車の自動車税の税率を引き下げるほか、自動車取得税の廃止に伴い、十月より新たに導入される予定の自動車税環境性能割の税率を、二〇二〇年九月末まで一率一%引き下げることと決めた。

車体課税の抜本の見直しについては、平成二十九年度の税制改正大綱で「平成三十一年度の税制改正まで」に安定的な財源を確保し、地方財政に影響を与えないよう配慮しつつ、自動車の保有に係る税負担の軽減に

関し総合的な検討を行い、必要な措置を講ずる」とされていた。

今回の改正では、消費税率一〇%への引き上げに合わせ、自動車ユーザーの負担を軽減し、需要を平準化するとともに、国内自動車市場の活性化と新車代替の促進による燃費性能の優れた自動車や先進安全技术搭載車の普及等を図るため、自動車の保有に係る税負担を恒久的に引き下げることとした。

また、恒久減税による地方税の減収については、エコカー減税の見直しを図ることとした。

自動車重量税のエコカー減税については、その政策インセンティブ機能を強化する観点から、乗用自動車の場合、現行、七五%軽減する自動車に係る軽減割合を五〇%へ、税率を五〇%軽減する自動車に係る軽減割合を二五%にするなど、軽減割合の見直しを行う。また、新車に係る新規検査後に受ける初回継続検査等の際に納付すべき自動車重量税を免除する措置の対象となる自動車を、現行の平成三十二年燃費基準値五〇%以上達成から、平成三十二年

自動車税種別割

自家用乗用車(三輪の小型自動車を除く)に係る種別割の税率は、平成31年10月1日以後に新車新規登録を受けたものから適用する。(なお、軽自動車税の税率については、変更なし)

総排気量	現行	改正	減税額
1,000cc以下	29,500円	25,000円	▲4,500円
1,000cc超 1,500cc以下	34,500円	30,500円	▲4,000円
1,500cc超 2,000cc以下	39,500円	36,000円	▲3,500円
2,000cc超 2,500cc以下	45,000円	43,500円	▲1,500円
2,500cc超 3,000cc以下	51,000円	50,000円	
3,000cc超 3,500cc以下	58,000円	57,000円	
3,500cc超 4,000cc以下	66,500円	65,500円	
4,000cc超 4,500cc以下	76,500円	75,500円	▲1,000円
4,500cc超 6,000cc以下	88,000円	87,000円	
6,000cc超	111,000円	110,000円	

自動車アセスメント評価

平成三十一年度 前期分の結果を公表



国土交通省と自動車事故対策機構(NASVA)は、平成三十一年度前期の自動車アセスメント評価結果を公表した。

自動車アセスメントは、国内で販売されている自動車を対象に、事故の被害を軽減する効果が高い「衝突安全性」、予防安全性「衝突安全性」等について試験を行い、その結果を公表する制度で、自動車ユーザーが安全

な車選びをしやすいう環境を整えるとともに、自動車メーカーに対してより安全な自動車の開発を促すことを目的に実施している。

今回実施した「自動車アセスメント」の自動車事故の衝突時に乗員や歩行者を守る技術の評価する「衝突安全性評価」では、「エクリプスクロス(三菱)」、「カムリ(トヨタ)／アルティス(ダイハツ)」、

「クロスビー(スズキ)」、「オデッセイ(ホンダ)」の計四車種について試験を行い、四車種全てが最高評価のファイブスター(星五個)賞を獲得した。

また、被害軽減ブレーキや車線逸脱抑制などの事故を未然に防ぐ技術

を評価する「予防安全性評価」では、十車種を対象に試験を実施。総合評価で「ソリオ、ソリオバンディット(スズキ)／デリカD2、デリカD2カスタム(三菱)」、「フォレスター(スバル)」、「カローラスポーツ(トヨタ)」、「N-VA N(ホンダ)」、「アテンザ(マツダ)」、「ekスペース、ek

「クロスビー(スズキ)」、「オデッセイ(ホンダ)」の計四車種について試験を行い、四車種全てが最高評価のファイブスター(星五個)賞を獲得した。

また、被害軽減ブレーキや車線逸脱抑制などの事故を未然に防ぐ技術

を評価する「予防安全性評価」では、十車種を対象に試験を実施。総合評価で「ソリオ、ソリオバンディット(スズキ)／デリカD2、デリカD2カスタム(三菱)」、「フォレスター(スバル)」、「カローラスポーツ(トヨタ)」、「N-VA N(ホンダ)」、「アテンザ(マツダ)」、「ekスペース、ek



新たに追加となった、対歩行者被害軽減ブレーキ(夜間街灯あり)試験の様子

5月20日は『交通事故死ゼロを目指す日』

- ・外出の機会が増える子供や活動期に入る自転車利用者の交通事故防止を図るため左記の活動等を推進する。
- ・子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ・自転車の安全利用の推進
- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用徹底
- ・飲酒運転の根絶

実施期間
5月11日(土)～5月20日(月)

重点目標
ストップ・ザ・交通事故
くめさせ 安全で安心な北海道
平成31年
春の全国交通安全運動

TOYOTA Rent a Car

トヨタレンタカーは、ハイブリッドのレンタカー保有No.1*。

人気のハイブリッド車で北海道を旅しよう

新型車も続々導入

プリウス4WD登場

ハイブリッド車では、満タン返却が不要な『ハイブリッド燃費精算』がオススメ!

精算金額 = 走行距離 ÷ 平均燃費 × 燃料単価

エコドライブを心掛けるほど燃料代がお得になります。

トヨタレンタカー予約センター 0800-7000-111

ホームページトヨタレンタカータイプ www.toyota.co.jp/rent/

携帯からのアクセスはこちら! http://rent.toyota.co.jp

株式会社トヨタレンタリース旭川 (本社)旭川市東鷹栖4線10号1番地8

旭川店 Tel.(0166)57-0100 大雪山店 Tel.(0166)34-0100 深川店 Tel.(0164)23-0100 稚内店 Tel.(0162)22-0100
旭川空港店 Tel.(0166)83-3701 富良野店 Tel.(0167)23-2100 利尻店 Tel.(0163)89-2300 稚内空港店 Tel.(0162)29-3100
旭川駅前店 Tel.(0166)23-0100 士別店 Tel.(0165)23-2100 利尻空港店 Tel.(0163)82-1100 留萌店 Tel.(0164)43-0100
忠和店 Tel.(0166)61-0100 名寄店 Tel.(01654)3-0100 礼文店 Tel.(0163)86-1117 十勝店 Tel.(0167)58-1001



旭川地方自家用自動車協会は交通安全運動を推進します

第8回 定時総会を開催

一般社団法人旭川地方自家用自動車協会

一般社団法人旭川地方自家用自動車協会は、平成三十一年二月二十六日午後三時からアトホテル旭川に於いて、北海道運輸局旭川運輸支局、北海道警察旭川方面本部を始め、関係機関・団体等多数の出席を得て、第八回定時総会を開催しました。

来賓を代表し、北海道運輸局旭川運輸支局長より「交通安全推進事業を重点として交通安全の啓発活動等に取り組み、交通事故の抑止に努めます事や、自動車ユーザーの利便性の向上を図るため、自動車の点検・登録に係る業務など、多岐に渡り貢献されておられる事業に対し改めて感謝を申し上げます」また、北海道警察旭川方面本部安海智久交通課長より、「警察行政の各般に渡りご理解とご協力を頂いておりますことに感謝を申し上げますとともに、夜光反射材の普及促進による高齢歩行者事故防止にもご支援を頂き、改めて敬意を表します」との挨拶がありました。

このあと、議案の審議に入り、「平成三十年度に係る事業・会計書類等の報告」「平成三十一年度会費の額並びに徴収方法に関する報告」「役員報酬の限度額に関する報告」さらに、「平成三十一年度事業計画並びに収支予算書に関する報告」「役員報酬の補選に関する報告」が行われ、いずれも原案通り承認・可決されました。

平成三十一年度の主な事業概況及び平成三十一年度事業計画並びに予算額は、次の通りです。

平成三十一年度事業概況

第八回定時総会にあたり、会員の皆様には協会事業活動に対しまして、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の国内の経済状況は、夏場以降相次いだ自然災害の影響が収束しつつあるなかで、企業の生産活動や個人消費は緩やかに回復していることから、景気拡大の長さは戦後最長の「いざなぎ景気」を更新するものと見られています。道北地域においても、個人消費は持ち直しつつあるとされているものの、依然として景気の回復・拡大基調を実感するまでには至らない状況が続いています。

自動車においては、安全運転を支援する安全運転支援システムを搭載した車両が広く普及されるなか、これらのシステムに代わる次世代のシステムとして自動運転システムが期待され、二〇二〇年までの実用化を

目指し、急速に技術開発が進められています。このような中で、昨年の国内新車販売台数は、前年より三万七千九百二十台多い五十二万九千九百七十七台を越え、前年実績を〇・七％上回りました。このうち登録自動車は、三年振りに減少に転じ、前年より四万二千八百一十台少ない三十三万七千九百四十三台、前年実績（三十三万九千八百四十四台）を一・三％下回りました。一方で軽自動車は、二年連続で増加となり前年を八万〇七千三百台上回る一九万二千〇四十四台、前年実績（一八万四千三百七十一台）より四・四％の増加となりました。

経済活動や日常生活において必要不可欠となっている自動車は、その一方で交通事故という社会問題を引き起こしています。昨年の交通事故による死者数は、全国で三万五千三百二十二人減少しました。道内においても、前年より七人減らすことができ一四一人に止めること

ができました。しかし、この一年間に全国で三五三二人もの尊い命が犠牲となっており、大変残念でなりません。

協会では、悲惨な交通事故を一件でも減らすべく、交通安全推進事業を重点として取り組みました。新入学児童を交通事故から守る活動として、交通安全啓発グッズを寄贈したのをはじめ、優良運転者の表彰や交通安全旗・啓発資材・交通安全啓発オリジナルカレンダーなどの作成配布、街頭啓発活動、交通安全広報活動などを行い交通事故の抑止に努めました。加えて、道庁旭川方面本部とは、薄暮時間帯の歩行者事故・自転車利用者事故等の防止活動について連携を図り、夜光反射材などの啓発資材を寄贈し、旭川方面本部並びに管内十二警察署において、交通安全運動に係る街頭啓発等で活用いただきました。

新年度においても、一般社団法人

旭川地方自家用自動車協会は、自動車ユーザーの視点に立ったサービス、交通事故の抑止等交通安全運動の推進、安全で安心なクルママ社会を目指し、関係官庁・関係団体等と連携を図り鋭意努力して参ります。

引き続き、皆様のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

一、会員の消長

一般社団法人である協会は、組織の充実強化を図る上で、会員の消長が最も重要な課題です。平成三十一年度の会員状況は、正会員一、二二名、賛助会員二、六六一名、合計で前年度より三四名減少の二、七八三名でした。会員の移動状況は、正会員では



関係機関・団体と連携を図り、積極的に交通事故の抑止、交通安全活動に取り組まれました。昨年の旭川方面管内の人身交通事故の状況は、発生件数が九八七件、負傷者数が一、六九人、死者数が三二人と、いずれも前年を上回る大変厳しい結果となりました。

協会が取り組んだ活動では、新入学児童を交通事故から守ることを目的として、ホイッスル付反射学童黄傘を旭川市へ一、五〇〇本、交通安全啓発ステンレス水筒一二五本を土別市へ、交通安全啓発文具セット二五〇個を名寄市へ寄贈しました。新年度においても新入学児童の交通事故防止対策、優良運転者の表彰等、交通事故の抑止活動、交通安全運動の推進を積極的に取り組んで参ります。

(2) 日常点検、定期点検整備の推進

協会では、日常点検・定期点検整備の必要性、点検要領等を機関紙である北海道自家用新聞やホームページに掲載し、自動車ユーザーの保守管理意識の向上を図りました。

また、整備管理者の選任・変更・廃止に関する届出書類の取り扱いを行う一方、ホームページで整備管理

続が一、二〇名、入会が二名、退会が三名、未継続が二名。一方、賛助会員では継続が二、四八八名、入会等が一、六九名、退会が六八名、未継続が一、三七名でした。

二、交通安全及び日常・定期点検整備推進事業

協会では、会員サービスの充実・業務処理体制の整備・実施事業活動の確実なる遂行にて自動車ユーザーの利便向上を図り、更なる会員獲得に努めて参ります。

(1) 交通安全の推進
協会では、北海道運輸局旭川運輸支局、北海道警察旭川方面本部及び

者制度の概要、選任要件、資格要件、選任前研修の日程等を掲載し、同制度の周知に努めました。

(3) 連絡機関紙の発行及びホームページでの啓発

協会の連絡機関紙として発行している「北海道自家用新聞」は、自動車を使用する上で必要な運輸関係示達事項並びに交通関係法規の改正等、自動車に係る最新情報を会員や自動車ユーザーに提供し、自家用自動車ユーザーに使用していただくことを目的に発行しています。

三十一年度の発行回数は五回で、延べ一万四三二四通を会員に送付する

協会が取り組んだ活動では、新入学児童を交通事故から守ることを目的として、ホイッスル付反射学童黄傘を旭川市へ一、五〇〇本、交通安全啓発ステンレス水筒一二五本を土別市へ、交通安全啓発文具セット二五〇個を名寄市へ寄贈しました。新年度においても新入学児童の交通事故防止対策、優良運転者の表彰等、交通事故の抑止活動、交通安全運動の推進を積極的に取り組んで参ります。

サポート・ユア・カーライフ

一般社団法人 日本自動車連盟 旭川支部

ロードサービス救援コール

車・バイクの故障、トラブルの受付
【全国共通・24時間年中無休】

0570-00-8139

通話料は有料(固定電話は1分/10円、携帯電話は20秒/10円)。ただし、一部のIP電話等からはご利用できません。
※携帯電話からおかけの場合、基本使用料金に含まれる無料通信分の対象とはなりません。

または、
短縮ダイヤル **#8139**

通話料は有料。ダイヤル留の固定電話、一部のIP電話等からはご利用できません。
※携帯電話からの救援依頼はご利用できません。

総合案内サービスセンター

住所変更等の手続き
会員優待サービスのご案内

【全国共通】平日9:00～19:00
土日・祝9:00～17:30年末年始休業

0570-00-2811

通話料は有料(固定電話は1分/10円、携帯電話は20秒/10円)。ただし、一部のIP電話等からはご利用できません。
※携帯電話からおかけの場合、基本使用料金に含まれる無料通信分の対象とはなりません。

入会申込はお近くの自動車販売店 または支部窓口へ

カーライフの もしもをトータルサポート 北自共のカーパック

自動車共済・自賠償共済のお問い合わせは ☎(0166)53-8186

北海道自動車共済協同組合 旭川支部

旭川市春光町10番地 FAX (0166) 53-2320

本部：札幌 他支部：函館・室蘭・北見・帯広

～全国自動車共済協同組合連合会ネットワーク～

北自共・東北自共・関自共・中部自共・近畿自共・西自共

車検証を紙からICカードへ

車検証の電子化に関する検討会

現在、自動車の保有関係手続きについては、申請者の負担軽減、業務の効率化を図るため、オンラインで一括して申請を可能とするワンストップサービス(OSS)が導入されており、国土交通省では、二〇二〇年度までに登録車の新車新規登録を八〇%、継続検査OSS申請を七〇%まで利用率を引き上げる目標を掲げている。

OSSの更なる推進にあたっては、自動車検査証(車検証)を紙から電子化へ移行し、運輸支局等への出頭を不要とすることが有効であり、昨年六月に閣議決定された「未来投資戦略二〇一八」では、デジタル・ガバメントの実現に向けた取り組みのひとつとして、自動車保有関係手続きに関するワンストップ化の充実・拡充が盛り込まれ、車検証の電子化の推進に取り組むことが決定されている。

このため国交省は、「自動車検査証の電子化に関する検討会」を設置し、電子化の具体化に向けた方策や技術的要件などについて検討を重ね、このほど基本方針を策定した中間とりまとめを公表した。

それによると、導入時期は登録車と軽自動車の車検証を同時に電子化することから、国交省と軽自動車検査協会のシステム更改を踏まえた上で、二〇二二年度以降の新車への一斉導入を計画し、使用過程車については継続検査時などのタイミングで、紙から電子車検証に順次切り替えていくこととしている。

電子車検証については、クレジットカードや運転免許証など同サイズのICカード方式とし、車検証情報をICチップに格納する。

なお、車検証情報が多くの用途で利用されている実情を踏まえ、カード券面には、使用者の氏名、自動車登録番号、車台番号などの車検証記載事項の一部の基礎的情報を表示し、車検証の利用者の利便性を確保する。

また、カード裏面にはICチップを格納し、裏面に備考欄を設け、「緊急・道路維持・緩和」といった重要情報を略語で表示し、詳細はICチップに記録することとした。

更に、継続検査OSSへの対応として、電子保安基準適合証やOSS申請時に必要となる車両情報を電子データとして活用できるようにし、指定整備工場での業務処理の省力化を図るとしている。

平成三十年 交通事故死者 前年を一六二人下回り 最少記録を更新



警察庁のまとめによると、平成三十年中の交通事故による死者数は、警察庁が保有する昭和二十三年以降の統計で最少となった前年の三六九四人を更に一六二人下回る三五三二人となり、最少記録を更新した。

また、人口十万人当たりの死者数でも、前年を〇・一二人下回る二・七九人を記録し、過去最少となった。

一方で、交通事故死者数全体に占める六十五歳以上の高齢者の比率は増加しており、平成三十年中の六十五歳以上の高齢者の死者数は一九六

六人で、前年より五四人(二・七%)減少したものの、交通事故死者数全体に占める高齢者の比率は前年を一〇%上回る五五・七%と、七年連続で五割を越えており、依然として死者数の半数以上を高齢者が占める状況が続いている。

なお、その他の交通事故状況では、交通事故発生件数は四三万〇三四五件で前年より四万八二〇件減少したほか、負傷者数は五二万四六九五人で前年より五万六九五五人減少し、交通事故発生件数及び負傷者

ド券面には、使用者の氏名、自動車登録番号、車台番号などの車検証記載事項の一部の基礎的情報を表示し、車検証の利用者の利便性を確保する。

また、カード裏面にはICチップを格納し、裏面に備考欄を設け、「緊急・道路維持・緩和」といった重要情報を略語で表示し、詳細はICチップに記録することとした。

更に、継続検査OSSへの対応として、電子保安基準適合証やOSS申請時に必要となる車両情報を電子データとして活用できるようにし、指定整備工場での業務処理の省力化を図るとしている。

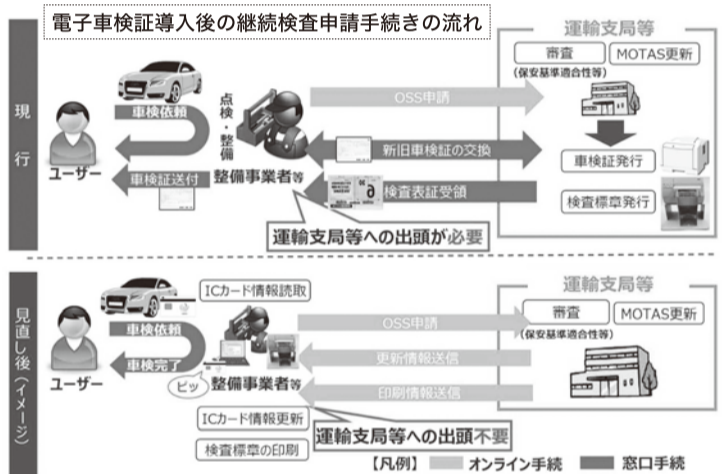
が、国交省では、今後この情報の更新に係る事務の一部については、一定の要件を満たしたOSS手続代行者(指定整備事業者)またはOSS申請代理人において行うことを検討すると同時に、検査標章についても印刷・交付することを可能とするよう検討していくとしている。

道内では、前年より二・七%増の二五万四六四四台となり、二十五万台を突破した。

HV車は、低燃費で環境負荷が小さいことに加え、自動車メーカー各社が車種を拡充していることにより、近年、軽自動車並びに登録自動車の新車販売を牽引している。

道内のHV車の前年からの純増分は、合計で二万八六五七台と約三万台増加。道内各運輸支局では、いずれも右肩上がりで増加しており、昨年末の伸び率は、二万台に到達した帯広が道内最高の一四・五%増を記録したほか、他の運輸支局においても一〇%程度の高い伸び率を継続している。

保有台数では、札幌の二二万四〇〇〇台を筆頭に、旭川は三万台を超える三万一五〇四台、室蘭が二万八



道内

ハイブリッド車保有台数 二十五万台を突破 五年間で約三倍に拡大

平成三十年十二月末現在の道内のハイブリッド車(HV車)の保有台数は、前年より二・七%増の二五万四六四四台となり、二十五万台を突破した。

HV車は、低燃費で環境負荷が小さいことに加え、自動車メーカー各社が車種を拡充していることにより、近年、軽自動車並びに登録自動車の新車販売を牽引している。

道内のHV車の前年からの純増分は、合計で二万八六五七台と約三万台増加。道内各運輸支局では、いずれも右肩上がりで増加しており、昨年末の伸び率は、二万台に到達した帯広が道内最高の一四・五%増を記録したほか、他の運輸支局においても一〇%程度の高い伸び率を継続している。

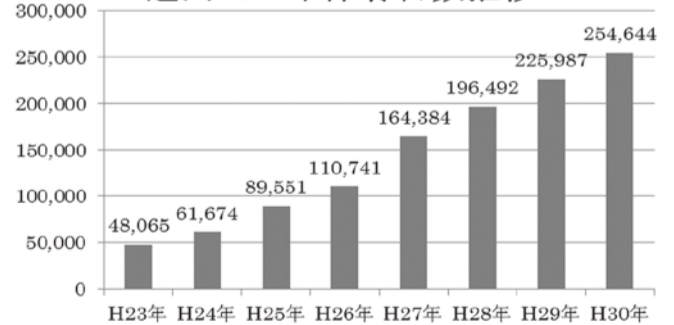
保有台数では、札幌の二二万四〇〇〇台を筆頭に、旭川は三万台を超える三万一五〇四台、室蘭が二万八

ち三二人(六九・六%)、自転車乗車中六人のうち四人(六六・七%)が六十五歳以上の高齢者となっており、全年齢死者数に占める高齢者の比率は更に前年を四・六%上回り、道内においても死者数の半数以上を高齢者が占める状況が続いている。

【年齢別死者数】

年齢層別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者		
							65~69歳	70~74歳	75歳以上
死者数	13	2	11	14	13	9	79	14	51
構成率(%)	9.2	1.4	7.8	9.9	9.2	6.4	56.0	9.9	36.2
前年比	+4	-1	-2	-4	-6	-1	+3	+5	±0

道内HV車保有台数推移



愛車に好きなナンバーつけてみませんか?

希望できるナンバーの区分

- ① 4桁以下のアラビア数字の部分のみが自由に選べるようになります。
- ② 特に人気が高いと考えられる右記の15通りのナンバーについてはコンピューターによる抽選になります。(月~金曜日受付分を原則として翌月曜日抽選)
- ③ 一般希望ナンバーについては、ナンバーがなくなる限り申込みに応じて払出します。



旭川590 さ 41-78

4桁以下のアラビア数字選べるのはここです!

抽選対象希望番号

1	7	8	88
333	555	777	888
1111	2019	2020	3333
5555	7777	8888	

※事業用及びリンクカーを除く

インターネットからも予約できます。アドレス <https://www.kibou-number.jp/>

詳しくは「旭川自家用」と入力して検索して下さい。

旭川自家用 検索

予約問い合わせは《希望ナンバー予約センター》まで

(一社) 旭川地方自家用自動車協会 TEL(0166)51-1221